



ミニスキージャンプ大会



2月10日、第20回まくべつ冬まつり・第15回ミニスキージャンプ大会が糠内農村公園特設会場で開催されました。100人を超える“ジャンパー”が飛距離を、仮装を競いあいました。

みなさんの想いが集まりました

将来の住み良いまちづくりのための設計図である都市計画マスタープラン（都市マス）策定に当たって、昨年実施した町民アンケートの結果がまとまりました。今月は、都市マスについての取り組みを報告します。

以前の広報でもお知らせしましたが、もう一度都市マスについて、その目的などをお知らせ致します。

都市マスは町の設計図

平成4年に都市計画法が改正され、住みよいまちづくりを進める上で、市町村は住民の方々の意見を聞きながら、将来の都市計画の方向性を示していくこととされました。

これからの都市計画の基本的な方針となるのが「都市計画マスタープラン」であり、幕別町では平成13年・14年の2カ年で策定を予定しています。

今年度は全体構想

都市計画マスタープランは、これからの暮らしやすいまちづくりに向けて、土地の利用や道路・公園の配置、幕別らしい町並みの形成などについて、町民の皆様の意見を伺いながら策定してまいります。

みなさんの想い

今年度は、全体構想を策定し、それを受け、来年度は地域別構想を策定していきます。



幕別いいべや探検隊

活動報告

都市マスづくりにおける住民参加の一環として、まちづくりに関心と意欲のある町民の皆様にお集まりいただき、幕別町都市計画マスタープラン検討会である、「幕別いいべや探検隊」が結成されました。

探検隊では、20名の皆様に参加をいただき、まちづくりに関する率直な意見や考えを直接聞いて、今後のまちづくりの検討に活かしていくため、今まで4回のワークショップを開催してきました。

ワークショップでは実際に自らの足でまちを歩き、自らの目でまちの良い点、悪い点を探る幕別町タウンウォッチングや、自分たちが撮影した写真をもとに、幕別町の課題や良いところを探したりと、様々な活動を行っており、多くの意見が出されています。



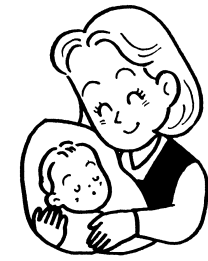
今年度は残り2回の開催を予定しており、住民による都市マスづくりを行ってまいります。

アンケートの概要

都市マスやまちづくりに対する町民の皆様のご意見などをお伺いし、都市マス策定の基礎資料とするために、幕別町にお住まいの全町民から、2,000世帯を無作為に選んで、町民アンケートを実施し、957世帯（回収率47.9%）の皆様から、回答がありました。

アンケートの内容を大別すると、

- 「現状に対する満足度」
 - 「将来、よりよいまちになるために必要なこと」
 - 「2つの市街地に求められるまちの機能」
- の3つの内容となっています。また、男性の回答者の割合が約7割と高くなっていますが、これは、同一世帯の構成員であれば、どなたでも回答できる形式

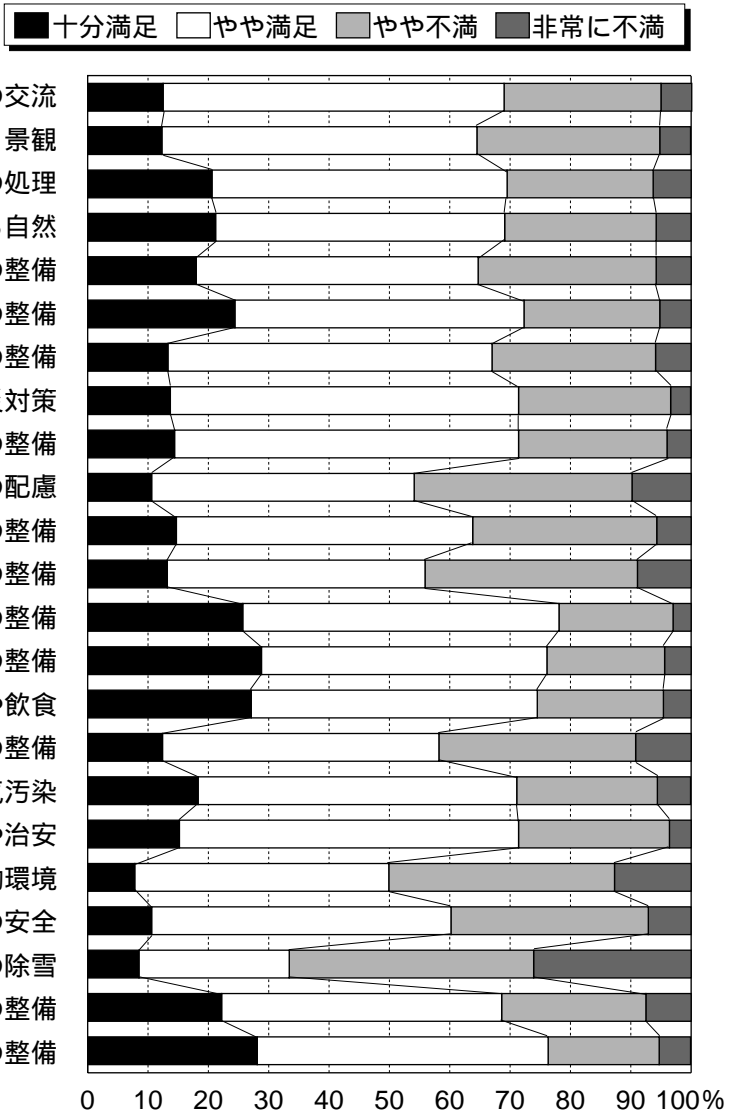


式で実施したことによるものだと思います。

現状に対する満足度

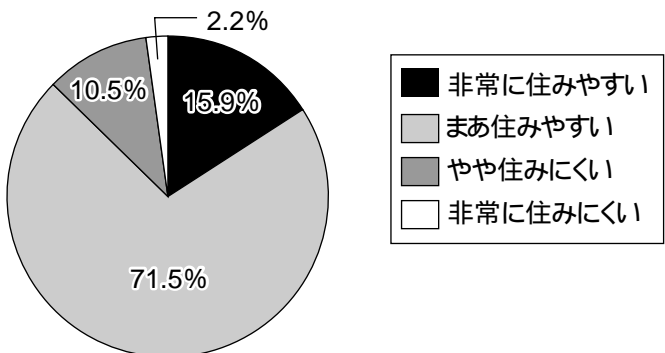
現在お住まいの地区で、都市計画に関係すると思われる23の項目に関して、当該項目の満足度を、4段階に分類して答えていただきました。比較的満足度の高かった項目

は、「文化施設の整備」「スポーツ施設の整備」などです。一方、「道路の除雪」「就労機会や労働環境」「高齢者、障害者への配慮」が、比較的低い満足度となっています。



～ 現状に対する満足度 ～

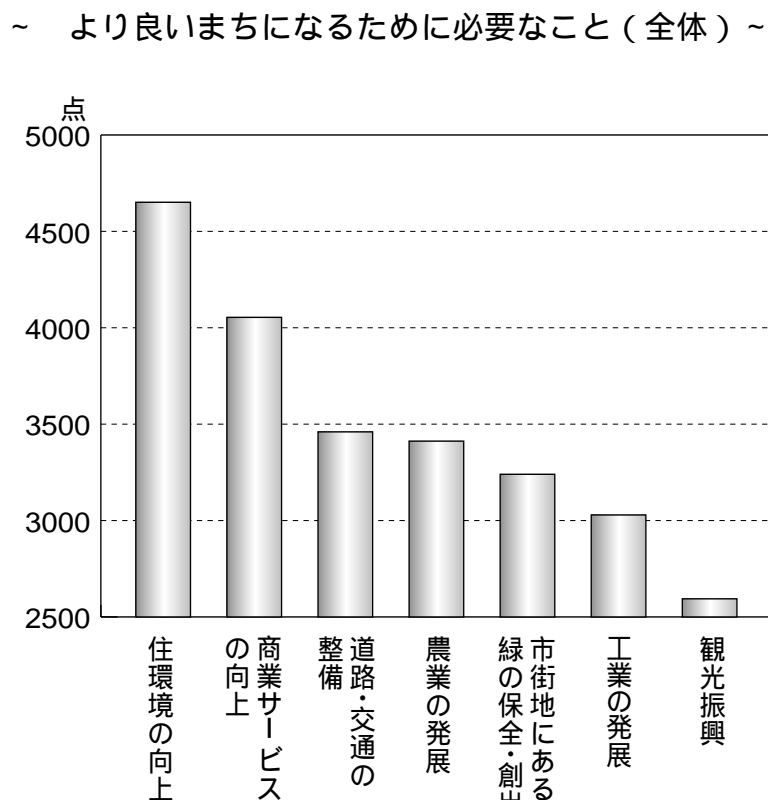
～ 現住地区のすみやすさ ～



「住みやすい」が90%以上住んでいる所の「住みやすさ」について回答していただきました。「非常に住みやすい」「まあ住みやすい」として住みやすいと答えた人は全体の約9割となっており、総体的には多くの方が、幕別町を住みやすいと感じていると言えます。

より良いまちになるために必要なこと

全体
 将来、幕別町がより良いまちになるために必要なこととして、7つの項目を、必要だと思っ順番に選んでいただきました。グラフは必要度を点数に置きかえて作成しています。
 必要度の低いものから1点、2点……とし、回答者数を掛けて、点数としています。



最も必要度が高いと思われるのは「住環境の向上」となっており、次いで「商業サービスの向上」となっています。
 項目毎に、必要だと思っ事項を順番に選んでいただきました。項目別のグラフも必要度を点数に置きかえて作成しています。

工業用地の配置について

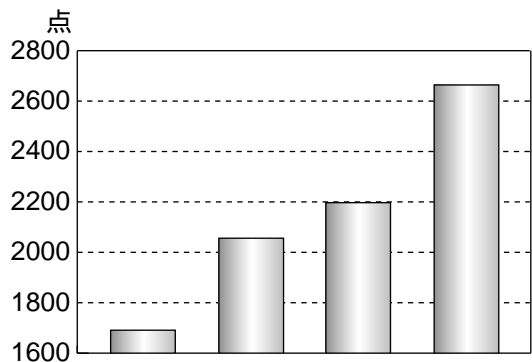
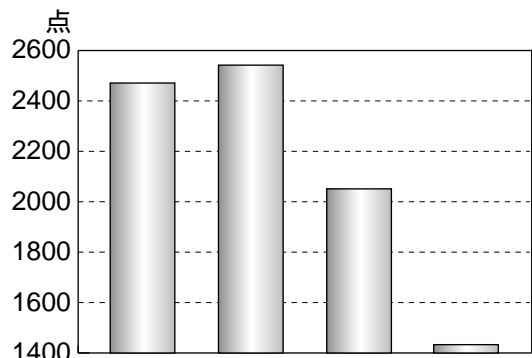
輸送や資源調達などによる工場側の利便性を重視した配置をする
 工業団地の職場としての機能を重視し、できるだけ近くに配置をする
 歴史的建造物や町並み、景観を重視した配置をする
 騒音や交通安全の問題を重視した配置をする

、の項目の必要度が最も高いと答えた人は、それぞれ3割を超えています。

道路・交通の整備について

住宅地や通学路の道路や歩道整備を行って、歩行者や自転車に優しい交通体系をつくる
 道路幅員の拡幅などを行って、自動車交通をより円滑にする
 立体交差などを行って、鉄道による交通の分断を解消する
 バスや汽車の便数増加などを行って、公共交通を充実させる

半数以上の人が、の必要度が最も高いと答えています。

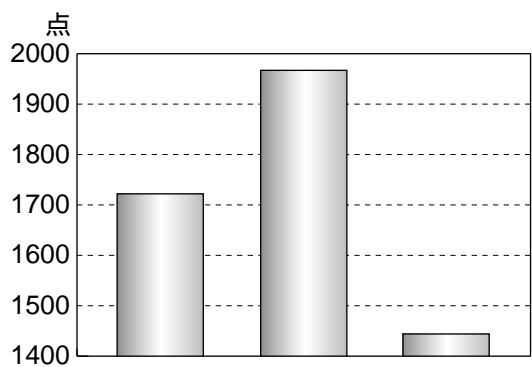


住宅地の拡大と既存市街地整備について

既存市街地の拡大によって新たな住宅地を開発する
 幹線道路沿いに新たな住宅地を開発する
 市街地の拡大はせず、いまある住宅地の住環境を向上させる

全体の約半数の人が、の必要度が最も高いと答えています。

一方、の既存市街地の拡大は半数以上の人々が最も必要度が低いと答えています。



2つの市街地に求められるまちの機能

幕別町にある2つの市街地については、将来的に幕別町第4期総合計画に示されているように、それぞれ個性的なまちづくりを推進していきます。
 そのため、それぞれのまちづくりに必要な機能をお伺いしました。

幕別地区に関しては、日常の買い物利便性の必要度が最も高いと答えた人が全体の約3割となっており、次いで自然の豊かさ、日常の買い物利便性となっています。

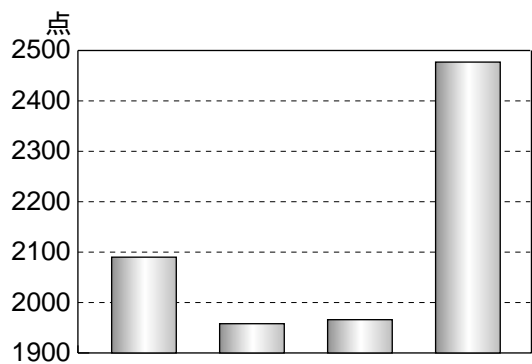
札内地区に関しては、交通利便性の必要度が最も高いと答えた人が全体の約3割となっており、次いで自然の豊かさ、日常の買い物利便性となっています。



快適な住環境について

開放的な住環境のため歩道などにオープンスペース（花壇等を整備した空間や広場など）を設ける
 個性を尊重するため垣根や壁などでプライバシーを保護する
 景観保全のために屋根の色や住宅の高さなどを制限する
 快適な住環境のために住宅目的以外の建築物をできるだけつくらない

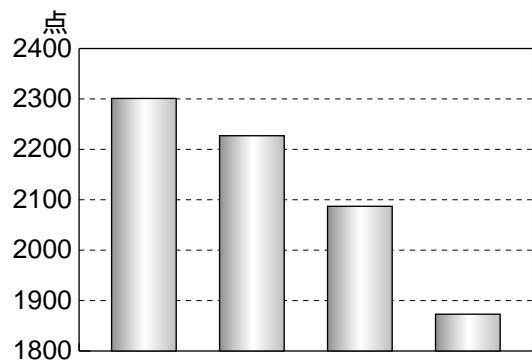
の必要度が最も高いと答えた人は、全体の半数を超えています。



商業サービスについて

駐車場の整備などを行い、駅周辺商業地の活性化を図る
 中高層住宅などを作り、商業地周辺の人口を増やす
 大型商業施設を誘致する
 住宅地の近くに日常的な買い物ができる商業地を作る

、の項目の必要度が高くなっており、日常生活における買い物利便性の追求が見られます。



住民との協働による都市マスのづくり

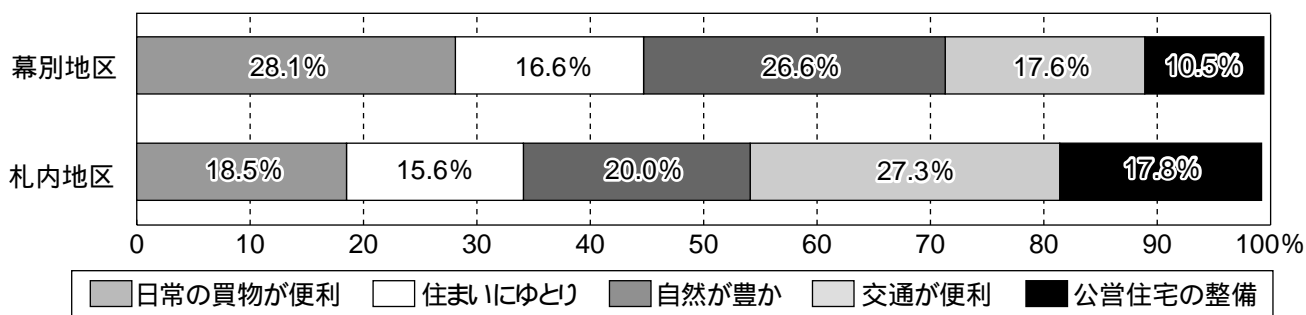
幅広い市民の皆様の意見を伺うための都市マス町民アンケートの実施で、様々な課題が浮かび上がってきました。
 また、「いいいや探検隊」の活動では、将来のより良いまちづくりに向けて、活発な意見交換が行われています。

今後は、町民アンケートやいいいや探検隊で出された住民の想いを受け、「今、何が課題となっているのか」「住み良いまちづくりには何が 필요한のか」を適正に把握し、将来のまちづくりにおける貴重な資料として活用しながら、住民と行政の協働によるまちづくりを進めていきます。

都市マスについての「ご意見など」については、左記の問い合わせ先までご連絡下さい。
 「ご意見お待ちしております。」

問い合わせ先
 幕別町役場 都市計画課
 ☎ 54-6621

2つの市街地に求められるまちの機能



2月2日地域活動を今一度見つめ今後のボランティア活動のあり方などについて学ぶため幕別町ボランティア研修会が開催されました
 研修会の主催は幕別町ボランティア連絡協議会と幕別町社会福祉協議会で会場の町保健福祉センターに113人の参加者が集まりました

幕別町ボランティア研究会開催

基調講演 佐橋 朝子さん

地域づくりと ボランティア活動

ボランティア活動の変化

少子高齢化の進行によってボランティア活動のあり方は大きく変化してきています。
 介護保険制度の導入によって従来ボランティアが活躍していた分野も保険制度で賄われるようになってきています。
 NPO法人の制度化によってばらばらだったボランティア活動の組織化も進んでいます。

活動のあり方の変化

ボランティア活動には従来二つのあり方がありました。
 一つ目は「限定的活動」で社会の中で対象者がはっきりした

活動で社会政策が補うことが出来ないニーズに即応してボランティアが補っていました。
 「貧困者や体の不自由な方への介護」などの活動です。
 二つ目は「普遍的活動」で全ての人が対象となり、より良い生活、より充実した時の共有を目的とした活動です。

「自己実現を目的とした活動」
 どちらの活動も地域を支えつくる上で大きな役割を占めています。
 歴史的背景から貧困層を対象にした「限定的活動」を担ってきたボランティアが、高度成長期を迎え「普遍的活動」を社会にもたらすことになりました。



佐橋 朝子さん
 1997年北星学園大学院社会福祉学専攻修士課程終了後1998年北海道福祉衛生専門学校を卒業し2001年6月音更町ボランティアアドバイザーとなる。

目的を明確に、視野を広げ、目標を見据える

より良い町づくりの視点にたった一住民としての広い世代のボランティア活動を行うことが地域作りにつながります。
 最後に次の質問を確認してください。

「より良い町」ってどんな町ですか？
 何が必要だと思いますか？
 何が出来ると思いますか？



ボランティアは
 価値観の集合体
 ボランティア活動を行う場は多様な価値観の集合体なので話し合いの場や目的・運営規定（目的の共有・共感）を設けることが必要となります。
 次の質問を確認してみてください
 活動の未来を語れますか？
 語り合えていますか？

4班に分かれて体験学習

参加者は昼食後4つのコースに分かれて体験学習を行いました。

家庭介護のしかた



入浴台を設置すると入りやすくなります

家庭での介護の仕方について町保健婦の国安さんに教わりました。

ポータブルトイレを使うことによりトイレまで行けなくても排泄介助が楽に出来ることを体験しました。

入浴設備の基本や浴槽への入り方を実際の設備を使って体験しました。

手話を学ぼう

帯広ろう者協会の遊佐孝子さんを講師に招いて手話を体験しました。

手話はジェスチャーが発展したものであり参加者はまず講師の先生が用意したカードに書いてある「おにぎり」「サッカー」「寿司」などをジェスチャーで表現してお互いに当ててもらいました。
 その後は「お父さん」「お母さん」「あれ」「それ」などの基本的な用語や挨拶などを体験しました。



点字を学ぼう

北海点字図書館の田中亜子さんを講師に招いて点字を体験しました。

参加者は点字の基本を教わった後、自分の名前を実際に点字にあらわす体験をしました。



ボランティア活動ってなあに

幕別町ボランティア協議会事務局長の菅好弘さんを講師に招き初めて参加する人を対象としてボランティアの基礎として次の4つの項目を学びました。
 ボランティアの心
 誰にでも出来るボランティア活動
 年代に合ったボランティア活動
 ボランティア活動の心がまえ

10ポイント

個人ボランティアを募集しています

幕別町社会福祉協議会では「ひとりでも出来るボランティア活動」を推進するため幕別町ボランティアセンターを設置して登録者を募集しています。

か活動できる曜日や時間帯を選ぶことが出来、無理の無い範囲で活動することが出来ます。
 受けたい人も連絡をセンターでは利用を受けた人からの申し出を登録者に紹介する業務を行いますので、利用を受けたい方はお気軽にご連絡ください。

したい人受けたい人の仲立ち
 町内では老人クラブや各種団体がボランティア活動に取り組み多くの成果をあげてきていますが、個人でも活動を行いたい人が増えてきています。したい人と受けたい人の仲立ちをする組織としてボランティアセンターを作りました。
 好きな時間帯を登録
 登録者はボランティア活動を行う分野を登録するほか



問い合わせ先

幕別町ボランティアセンター
 幕別町新町122番地の1
 電話 55-3792

特集

完全学校週5日制実施



平成14年4月から完全学校週5日制が導入されますがそのねらいは次の2つです
学校・家庭・地域社会全体の生活を見直しゆとりある生活の中で個性を生かしながら「生きる力」を育む
土曜日や日曜日を利用して、家庭や地域社会で生活体験や自然体験、文化・スポーツ活動などさまざまな活動や体験を通して「生きる力」を育む
今月と来月の2回に分けて完全学校週5日制導入の背景と幕別町の取り組みを紹介します



みずほ町の餅つき

毎週土曜日が休みに なります

完全学校週5日制とは

導入の背景は

私たちが取り巻く環境は大きく変化しています。そしてその変化は子供たちにも色々な影響を与えています。
変化の表れの一つとして子供たちのいじめや不登校児童・生徒の増加、問題行動の多発が現れています。
「完全学校週5日制」のねらいは、次代を担う青少年が激変する社会をたくましく生きていく力を育むところにあります。
学校で過ごす時間を減らし、その分社会や家庭で過ごす時間を多くすることにより、子供たちの生活にゆとりを与える事が目的です。
このゆとりの時間にさまざまな

な体験活動に主体的に取り組むことが必要なのです。

生きる力とは

生きる力については具体的に次のことがあげられています。
自分で課題を見つけ、考え、よりよく問題を解決する力
他人を思いやる心や感動する心
たくましく生きるための健康や体力
自然・人間の生命感、存在の尊さ美しさなどの価値を感じる感性
正義感や公正さなどを重んじる心などの基本的倫理観
生きる力を育むために家庭や地域社会ではどんな取り組みが必要でしょうか。



暁町の子ども会まつり

学校の授業はどのように変わるの？

新学習指導要領が目指すもの

一般教科の削減

完全学校週5日制の導入によって土曜日の休みが増えた分、学校での授業時間は減りますが、授業の内容はどのようなものでしょうか。

とりの中で、子供たちに「生きる力を育成する」ことを基本的なねらいとし、左のような4つのポイントを重視した教育内容に変わります。
具体的には次のような点が大きく変わります。

文部科学省が学校・学年ごとに教えるべき内容を定めた「学習指導要領」も完全学校週5日制に合わせて改定されています。新しい学習指導要領では、ゆ

授業時数
完全学校週5日制で教育を行うため、授業時数は、これまでより1週当たり2単位時間少なくなります

教育内容

全ての子供が共通に学ぶ内容は、社会生活を営むうえで必要とされる基礎的・基本的な内容に厳選するとともに、子ども一人ひとりが興味関心などに応じて選択できる幅を拡大しました。これにより子どもたちがゆとりの中でじっくり学習し、基礎・基本を身につけることができるようになります。
総合的な学習の時間の新設
子ども達が社会の変化に対応し、たくましく生きていくためには、教科などで学んだ知識を用いて自ら課題を発見し、自ら学び自ら考える力が必要です。そうした力を育むために、体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、総合的な学習の時間を新設します。

これまでの取り組み

幕別町では完全学校週5日制実施に向けて次の準備を行ってきました。平成14年度からの取り組みについては4月号でお知らせいたします。
特色ある教育活動
町内の小中学校では平成12年度から総合的な学習の新設に備えるため次の取り組みを行っています。

各学校では、地域、学校、子

町の仕組みを町長から教わる

札内中学校では2月8日、1年生の総合的学習の一環として町政の仕組みを岡田町長から教わりました。
同校では今年度1年生の総合的学習として、「自分を知る」「地域を知る」をテーマに取り組んで来ました。これまで、農協やニッタクスの工場などに出かけ学習して来ました。
事前学習を進める中で、町全体のことを知るなら町長に聞いてみたいという生徒からの要望が生れました。このため岡田町長が1年生75人を前に町政の仕組みを説明しました。
この日は生徒達が事前に



岡田町長の説明を熱心に聞く札内中の1年生

この日は生徒達が事前に

介護保険アンケート結果まとめ

町では昨年末、介護保険のアンケート調査を面接聞き取り方式で認定を受けている本人とその家族を対象に実施しました
本人のサービス満足度は約7割と高いものの、不満な点について具体的な指摘をいただきました

介護保険制度が開始して1年半経過する中で町では、サービスの向上に役立てるため、平成12年に引き続き2回目の介護保険アンケートを実施しました。

介護サービスを利用しなかった理由としては、「サービスを受けなくても十分に生活している」

が最も多く、次に「不測の事態発生の際にサービスを受けた」との回答で、認定は受けたが今は利用しないという考え方が表れています。

また、家族の回答では「本人が家族以外の介護を拒む」「ヘルパーが家に来てもらうのは気が進まない」という方や「受けたいサービスがない」「サービス内容が不満で利用を中止」と答えた方も比較的多く見られました。

「安い」と答えた方が「どちらともいえない」と答えた方が

平成13年7月現在介護認定を受け在宅している方とその家族を対象に、昨年末にサービスの利用状況について訪問アンケートを実施しました。

介護サービスを利用しなかった理由

また、家族の回答では「本人が家族以外の介護を拒む」「ヘルパーが家に来てもらうのは気が進まない」という方や「受けたいサービスがない」「サービス内容が不満で利用を中止」と答えた方も比較的多く見られました。

「高い」と答えた方が、

利用料については、高い安いということより「サービスは必要なだから利用料の負担はしかならない」とあるいは「当然だ」というご意見を多くいただきました。

この項目は前回とほぼ同様の結果で、本人と家族の回答も同じ傾向でした。

介護サービスを利用しなかった理由

「高い」と答えた方が、

利用料については、高い安いということより「サービスは必要なだから利用料の負担はしかならない」とあるいは「当然だ」というご意見を多くいただきました。

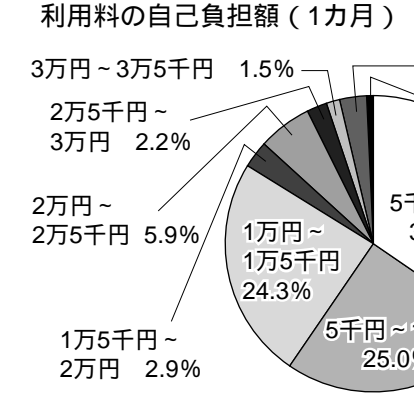
利用料の自己負担額（1カ月）

利用の有無	本人	家族
利用している	136人 (78・2%)	136人 (78・2%)
利用していない	38人 (21・8%)	38人 (21・8%)
利用しなかった理由		
経済的な理由から1割負担が困難である	0人 0.0%	0人 0.0%
受けたいサービスがない	6人 15.8%	0人 0.0%
本人が家族以外の介護を拒む	5人 13.2%	4人 13.8%
ヘルパーが家に来てもらうのは気が進まない	2人 5.3%	1人 3.4%
できる限りは家族介護を継続し、何か不測の事態が発生した時にサービスを受けたい	3人 7.9%	4人 13.8%
サービスを受けなくても十分に生活している	19人 50.0%	10人 34.5%
サービスの利用の仕方がわからない	0人 0.0%	0人 0.0%
以前よりも介護を必要としなくなったから	1人 2.6%	1人 3.4%
ケアマネジャーにまかせている	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	13人 34.2%	9人 31.0%
わからない	0人 0.0%	0人 0.0%
対象者数（複数回答）	38人	29人

	本人	家族
経済的な理由から1割負担が困難である	0人 0.0%	0人 0.0%
受けたいサービスがない	6人 15.8%	0人 0.0%
本人が家族以外の介護を拒む	5人 13.2%	4人 13.8%
ヘルパーが家に来てもらうのは気が進まない	2人 5.3%	1人 3.4%
できる限りは家族介護を継続し、何か不測の事態が発生した時にサービスを受けたい	3人 7.9%	4人 13.8%
サービスを受けなくても十分に生活している	19人 50.0%	10人 34.5%
サービスの利用の仕方がわからない	0人 0.0%	0人 0.0%
以前よりも介護を必要としなくなったから	1人 2.6%	1人 3.4%
ケアマネジャーにまかせている	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	13人 34.2%	9人 31.0%
わからない	0人 0.0%	0人 0.0%
対象者数（複数回答）	38人	29人

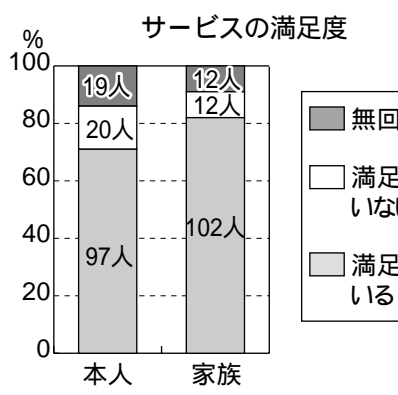
この項目は前回と同様に新しい新たな項目です。利用料の自己負担額は「5千円未満」が47人(34・6%)で最も多く、次いで「1万円未満」が34人(25・0%)、「1万5千円未満」が33人(24・3%)の順となっています。

自己負担の金額については「高い」と答えた方が、



満足度について

満足している
本人 97人(71・3%)
家族 102人(81・0%)
満足していない
本人 20人(14・7%)
家族 12人(9・5%)



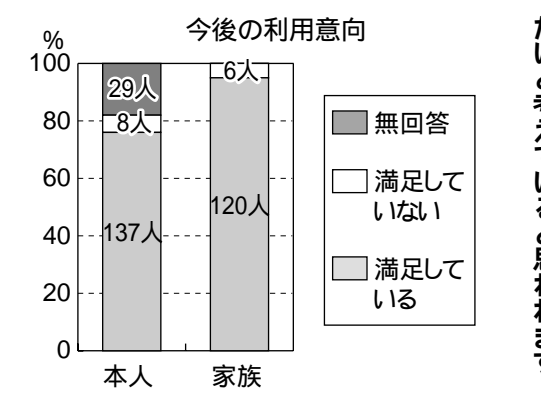
「楽しく、元気の源である」「外に出る機会が増えた」などの回答をいただきました。

本人は生活にはりができ、介護する家族は時間や気持ちに余裕が持てている状況がうかがえます。

ただ、老人性痴ほうの症状のある方を介護している家族にと



「利用者が多すぎるため送迎時間がかかる」「入浴時間が短い」などの回答が多いほか「不満だが仕方ない」「世話になってるので我慢している」など職員に気を使っている様子も見られました。



「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)でした。

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)でした。

今後の希望について

利用希望については「今後も利用したい」と答えた方が

本人 137人(78・7%)
家族 120人(95・2%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

「十分反映されている」「ほぼ反映されている」という回答が合わせて104人(82・5%)

シリーズよくわかる 介護保険

～介護保険サービス 介護サービス計画の実例～

今回は、実際に介護サービスを受ける場合の参考例として、要支援、要介護2、要介護4の方の、介護度別のサービス計画をご紹介します。

【要支援の方の例】

	午前	午後
月		訪問介護（家事援助）
火		
水	通所介護又は通所リハビリ	
木	訪問看護（月1回）	
金	訪問介護（家事援助）	
土		
日		

【要介護2の方の例】

	午前	午後
月	訪問介護	
火	通所介護又は通所リハビリ	
水	訪問介護	
木	訪問介護	訪問介護
金	通所介護又は通所リハビリ	
土	訪問介護	
日	訪問介護	

【要介護4の方の例】

	午前	午後
月	訪問介護	訪問介護（巡回型） 訪問リハビリ
火	訪問看護	訪問介護（巡回型）
水	訪問介護	訪問介護（巡回型）
木	訪問介護	訪問介護（巡回型）
金	訪問看護	訪問介護（巡回型） 訪問入浴（隔週）
土	訪問介護	訪問介護（巡回型）
日	訪問介護	訪問介護（巡回型）

これらはご自宅でサービスを受けることを基本とした訪問型のサービスの例ですが、通所サービスを中心にしたサービス計画を立てることも可能です。また、要介護1以上の方については、施設に入所してサービスを受ける計画を作成することも可能です。

いずれにしましても、サービスを受けられるご本人の身体状況など必要に応じて、介護サービス計画を立てることが重要です。

1月号から3月号にわたって介護サービスについての説明をいたしました。ご不明の点につきましては、お気軽に保健福祉センター介護保険係・介護支援係までお問い合わせください。

確定申告に係る介護保険料

確定申告の時期ですが、皆様、申告はもうお済ですか？

最近、介護保険係に確定申告についてのお問い合わせがよくあります。お問い合わせが一番多いのが、ご両親の介護保険料について、息子さんなどの社会保険料控除として申告できるか？ということです。

介護保険料は生計を一にする世帯主の方や配偶者の方が納付の連帯責任者となっています。ですから窓口や金融機関で納付連帯責任者が納められた普通徴収分については、お支払いになった保険料全額を、納付連帯責任者の社会保険料控除の対象とすることが可能です。

しかしながら、年金からの特別徴収分については、被保険者ご本人の年金から納付いただいたものであり、その連帯責任者の社会保険料控除の対象にはならないとされています。



町民無料入浴ご招待券を発行してきたホテル緑館

ホテル緑館が行っています「町民無料入浴ご招待券」制度は、平成元年10月に町営国民宿舎幕別温泉ホテルを北海道振興に売却する際に取り交わした覚書に基づき、福祉施策の継続としてホテル緑館がオープンした平成3年12月から今日まで行われてきたものです。

幕別温泉ホテル緑館が行っています「町民無料入浴ご招待券」制度が、平成14年3月31日をもって廃止されることになりました。ホテル緑館では、これに代わる措置として「通常の入浴料金について町民優待大人400円を300円に引き下げる（小人150円は据え置き）。年3日、町民無料入浴ご招待日を設ける」ことを町に提案。町も検討の結果、これを受け入れることといたしました。

の申し入れは、平成10年に行われた。協議のうえ継続をさせていただいておりましたが、平成12年度においては、通常日はこれまでと同様に午前11時から午後9時までの入浴時間とし、土曜・日曜・祝祭日並びに年末年始など宿泊客の多い期間は午前11時から午後3時までの時間制限を行い制度の存続を図ってまいりました。

経済状況を考慮し受諾。北海道振興協会の「町民無料入浴ご招待券」制度廃止の申し入れの理由は、宿泊客と日帰り客との大浴場での混雑による苦情の多い経済状況の中、会社会体の経営改善の必要性の2点です。

町といたしましては、町議会並びに昨年11月に開催いたしました町民の大人料金値下げも、今日まで幕別町の温泉ホテルとして培ってきた町民の皆さんとの関係を大切にしたいとのことから、制度廃止に代わる措置として「通常の入浴料金について町民優待大人400円を300円に引き下げる（小人150円は据え置き）。年3日町民

町民の大人料金値下げ

した公区長会議において制度廃止申し入れの状況について説明をさせていただくとともに、北海道振興協とも制度存続に向けて協議を重ねてまいりました。しかしながら、「町民無料入浴ご招待券」制度が10年経過したこと、長引く経済社会の低迷による企業努力の限界などを考え北海道振興協の制度廃止の申し入れを受け入れることとしたものです。

町民無料入浴ご招待日

月日	名称	対象者
2月6日	風呂の日	全町民
9月15日	敬老の日	65歳以上の町民
12月7日	緑館開業日	全町民

入浴時間は、午前11時～午後4時（午後3時受付終了）となります

また町民優待料金で入浴する場合は各家庭に1枚配布している割引利用券をフロントに提示ください。ご利用券は、町民優待料金で入浴する際に発行されます。

無料入浴ご招待日を設ける」ことの提案がありました。このことは平成14年4月1日から実施されることとなります。町民の皆さんのご理解をお願いいたします。

なお、年3日実施される町民無料入浴ご招待日につきましては、左のように実施されます。



●Town Topics●

まちの ニュース

公区・サークルの活動
などを広報広聴担当に
連絡ください

パークプラザ前で「小学生だらけの 綱引き大会」が開催



1/27

1月27日、商工会青年部主催のウィンターカーニバルが開催され、幕別パークプラザ前広場では、「第4回チキチキ!!小学生だらけの綱引き大会」が行われました。今回は、町内の小学生で構成された12チーム、約130人が参加し、総当りによる66試合が行われました。4時間にわたる熱戦を制したのは、「明倫フアイターズ」。子ども達は、用意された豚汁で体を温めながら、冬の一日を楽しく過ごしました。

2/20

まちの将来像を探る講演会で 北海学園大学の森教授が講演



観客席に下り質問に答える森教授

2月20日、町百年記念ホールで、北海学園大学から森啓教授を招き、「市町村合併・町が単独で生き残る道はあるか」と題し、まちの将来像を探る講演会を開催しました。森さんは、「まちの将来を考えるために、行政と町民が共に、今まちが抱えている問題を発見し、考えることが必要」と語り、「合併は、その問題解決のために論じられるべき」と話し、まず、「自分の住むまちの現状を理解してほしい」と提案しました。町内外から集まった約300人の聴衆からは、「合併の情報を知る方法は？」など多くの質問が出されていました。

まくべつ写真展開催 2/2～10



第13回まくべつ絵画展(まくべつ町民芸術劇場主催)が町百年記念ホールで開催されました。幕別町民と幕別にゆかりのある方の作品55点が展示されました。

平成13年度まくべつ芸術祭「まくべつ写真展」(幕別町文化協会主催)が町百年記念ホールで開催されました。「十勝自然写真同好会」の作品24点と「まくべつカメラ友の会」の作品21点が展示されました

まくべつ絵画展開催 2/6～11



明るく、豊かな、住みよい地域を築こう 明るいまちづくり住民大会が開催

2/17

2月17日、第25回明るいまちづくり住民大会(手づくりのまち推進委員会主催)が礼内福祉センターで開催されました。今回は、鹿追町「花と芝生のまちづくり」推進協議会会長の三井福成さんが、鹿追町で行っている、花と芝生による町づくりについて講演しました。続いて、礼内春日公区長の高野幸雄さんによる、春日公区の活動内容の発表、町からは、市町村合併に関する状況説明が行われました。大会では、参加した約180人を対象に、花と芝生の種の抽選会も行われ、盛り上がりました。

明るいまちづくり



講演する三井福成さん

1/21 ~ 2/7

障害者のための パソコン教室実施



障害者を対象にしたパソコン教室を町百年記念ホールで開催しました。パソコンを触った事のない障害者の方にパソコンの世界を体験してもらうため、町社会福祉協議会と連携し開催しました。今回は講師のほかアシスタントを配置しました。6回開催した研修は9人が受講しキーボードの入力方法やインターネットの接続の仕方などを教わりました。受講者は、「一度には覚えられないがじっくり取り組んで行きたい」と話していました。

健康と楽しみを求めて 冬のパークゴルフ...

緑町老人クラブ陸会(吉田勝司会長)では、ゲートボールとパークゴルフを变形して冬の間もスポーツを楽しんでいます。場所は軍岡の老人健康増進センターで、ゲートボールの愛好者と交代で一日おきに活動しています。競技のルールはパークゴルフと同じでクラブとボールも同じ物を使用しています。ホールは発砲スチロールとダンボールを利用して作りました。ゲートボールのルールを取り入れて3カ所あるゲートを通らないと次のホールにいけないようにしています。



手づくりのホールでゲームを楽しむ陸会の皆さん



わが家の アイドル



車が大好きな僕。今日も
パパとアクセル全開だ～
い!

三好 翔大 (みよし しょうた) 10歳
平成13年3月21日生
ママ美栄さん



ロングまつ毛とパッチリ
おめめに、みんないちこ
るよ♡

西田帆乃花 (にしだほののか) 1歳
平成13年3月17日生
ママ紀子さん



P.N.横山ポトス

わたしの イラスト



P.N.麻倉あんな



宮本結佳



柴山衣理



P.N.ハイビスカス

みんなの 広場

このページではみなさん
からのお便りや取材で聞
いた意見・作品などを紹
介しています。



除雪の特集は良かった。あと、
除雪はすこいお金がかかるんです
ね。ちよっとびっくりした。
除雪の時、家の前に固い雪が残る
ので、どうにかして欲しい。
先月号の特集にも掲載しました
が、車道を確認するためには、どう
しても歩道の上に雪を押し上げるし
か方法がありません。皆さんの協
力をお願い申し上げます。

幕別町でやっている健康教室(エ
アロビなど)をぜひ、礼内でも
やって下さい。
平成14年度より、幕別地区は農
業者トレーニングセンターで、礼内
地区は、礼内スポーツセンターにお
いて、健康講座の開催を計画して
おります。
(教育委員会)

「寄付ありがとうございました」
(2月18日現在)
佐々木恵子さん(泉町)から福祉
推進基金に50万円

正 月休みに帰省した息子と、初め
て明野ヶ丘スキー場に行つて楽
しんできました。
P.N.トマト大好

年 明け早々問題の多い国会になり
国民の不安もつのるばかり。
失業者も増える一方、雪と一緒に
いやな事も消えて、明るい世の中
になってほしいものです。
これから国を背負っていく若者
に、少しでも希望が持てる世の中
なるよう祈っています。

除 雪いつもありがとございます
す。朝早く、もしくは夜中もや
つてくださって感謝しています。上
手な除雪と感動しています。
早く春になって暖かくなるといい
ですね。
P.N.H・M

募集内容

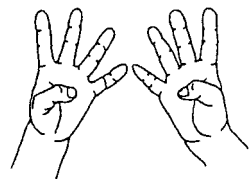
来月は平成13年4月生まれのお子さんです。3月15日(消印有効)までに
写真と20字程度のコメント、住所、氏名(パパとママも)性別、生年月
日を企画室広報広聴担当までお寄せください。なお写真はお返ししま
せんので、ご了承ください。

指先を動かして、頭の体操を!

手の指、足の指の動きは、脳の神経機能を十分に使うことによって行われています。
そのため、日常生活の中で指先をあまり動かさないでいると、その機能は衰えやすく、指先の細かい動きが
スムーズにできなくなってしまいます。
服のボタンをする時に「やりづらくなったな」と感じる方、家の中でふらつきやすくなった方は要注意!
手をさすったりもんだり、指を握ったり広げたり等、指先の動きを多く取り入れていきましょう。

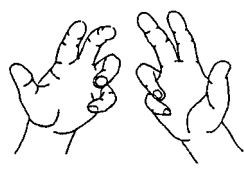
【親指から指折り】

...親指から折り、小指から開く



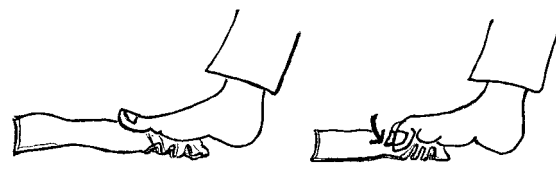
【小指から指折り】

...小指から折り、親指から開く



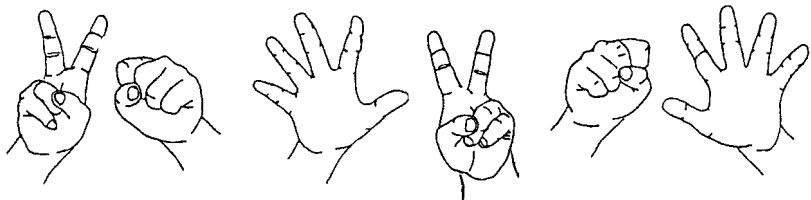
【タオルを引き寄せる】

...タオルを長く伸ばし、指で引き寄せていく



【1人じゃんけん】

...右手が勝ち、左手が負けるように、同時に指を変えていく。



【タオルつかみ】

...足の指でタオルをつかんだり
はなしたりする



さあ、問題だよお!

広報クイズ 180

Q. 都市計画マスタープラン策定
のためボランティアが参加して
造られた検討会の名称は?

- まくべつ探検隊
- 幕別いいべや探検隊
- 幕別よいまちづくり隊

【応募方法】

はがきにクイズの答え、住所、
氏名、年齢と、ご意見、ご要望な
どを書き添えてください。

【あて先】

〒089-0692
幕別町本町130番地
幕別町役場企画室広報広聴担当

【締め切り】

3月15日(消印有効)

【前回の当選者】

応募総数は26通でした。先月号の
正解は で、当選者は当選者はP
N.フクロウさん、佐々木美幸さん、
菅野恵介さん、河野廣明さん、富
田邦子さんです。

【毎月5人に図書券をプレゼント】



細矢 昌俊さん
(桜町)

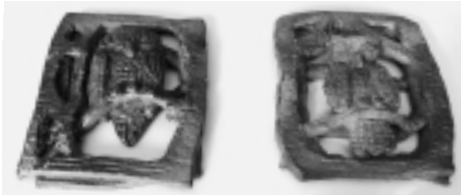


陶芸(菓子器と花器)

わたしの アトリエ

陶芸を始めて2年になりますが、陶芸が一番気に入
った趣味ですね。
作品が出来るたびに、反省点ができて、陶芸は奥
深いなと感じます。いつか誰も作ったことがないよう
な、大きなつぼを作りたいと思っているのですが、そ
う思うと、自分の窯が欲しくなりますね。

陶芸(フクロウ)



趣味で版画をやっていたのですが、立体的なものを
作りたいと思い、陶芸を始めました。
陶芸は、制作の過程で自分のイメージしていない、
思わぬ色がでたりすることがあり、おもしろいですね。
フクロウは、その表情にひょうきんさを感じ気に入
っていて、作品によく使います。

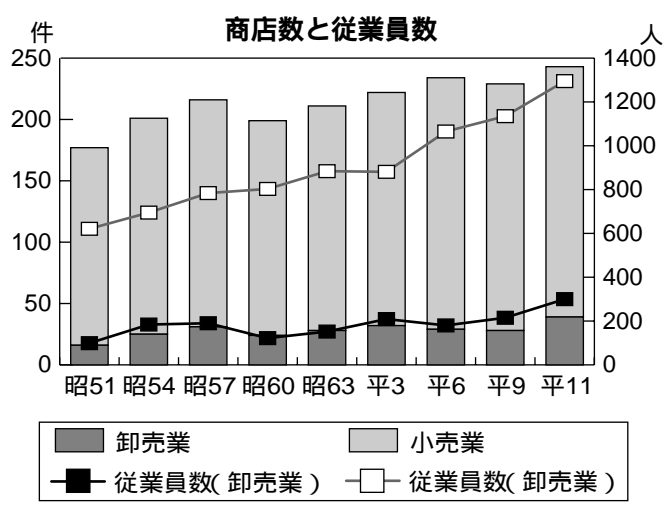
このコーナーでは絵
画や手芸、陶芸品な
ど、みなさんの力作
を紹介しています。



小鹿野正己さん
(旭町)

数字でみる わたしの町

▶ 第38回 ◀ 243店

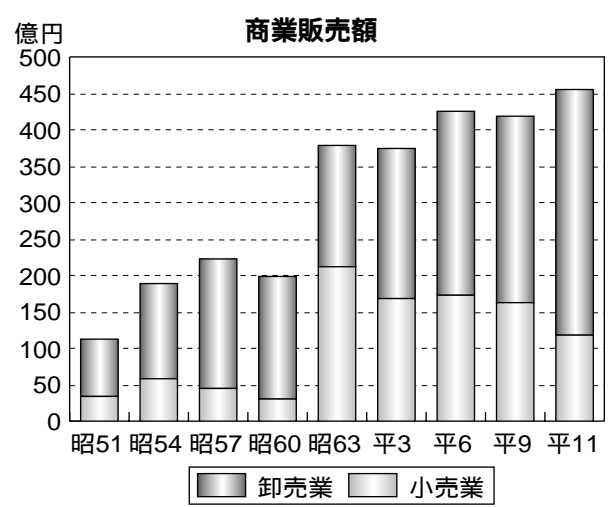


幕別町の商店数と商業販売額

幕別町の商店数は、平成11年の商業統計調査によると、卸売業が39店、小売業が204店で合計243店となっています。

小売業の従業員数が、近年増えていきます。商店数がほぼ横ばいですから、大型店が増加しているといえます。

商業販売額は、平成11年では卸売業118億円、小売業337億円で合計すると455億円でした。販売額は、総体では増加していますが、卸売業に限ると昭和63年をピークに、減少傾向にあります。



開拓時代の物価は高かった

明治30年、猿別市街に幕別外六か村戸長役場が設置された当時の物価が、幕別町百年史に掲載されています。

白米一升16銭、しょうゆ一升36銭、塩一升8銭、地酒一升30銭などとなっています。ピンとこない方も多いと思いますが、当時としては、十勝の物価は高かったと記録されています。

こちらから編集室です

21世紀最初のオリンピック、ソルトレークオリンピックが開幕しました。

時差の関係で生放送は早朝が多く、寝不足になった方も多いのではないのでしょうか。

大半の種目で米国・欧州勢の活躍が目立ち、日本との差は広がった感があります。

その中で、スケート王国十勝出身の清水宏保選手が腰痛を抱えながら、2大会連続のメダルを獲得したことは、特筆すべきことでした。

彼のすごいところは、技術もさることながら、目標を達成するために努力し、集中できる精神力だと思っています。

3月を迎え、卒業、転勤など新しい環境へ準備を進める方が多くなるかと思えます。皆さんはどんな目標をたて、努力していくのでしょうか。

妹尾・武田

人の動き《平成14年1月末日現在》
 人口 25,420人 (+7人)
 男 12,210人 (-12人)
 女 13,210人 (+19人)
 世帯数 9,579戸 (+20戸)

広報まくべつ 2002年3月号

発行 幕別町
 編集 企画室広報広聴担当

(〒089-0692 北海道中川郡幕別町本町130番地
 TEL 0155-54-6610 FAX 0155-54-3727)